



2025年12月期 第3四半期決算説明会

小山 浩史

株式会社 堀場製作所

シニアコーポレートオフィサー、グループCFO 兼 財務法務本部長

2025年11月14日

説明内容

- 2025年12月期 1-9月決算概要
- 2025年12月期 通期業績予想
- 営業利益分析
- 為替の影響額
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 配当予想

< 免責事項 >

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

2025年12月期 1-9月実績

(単位：億円)

エネルギー・環境フィールド、先端材料・半導体フィールドが牽引し、増収増益。
売上、営業利益、経常利益は過去最高。

	2024年	2025年	増減	
	1-9月実績	1-9月実績	対前年	率
売上高	2,158	★ 2,302	+143	+6.7%
営業利益	299	★ 335	+36	+12.1%
営業利益率	13.9%	14.6%	+0.7p	-
経常利益	311	★ 343	+32	+10.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	199	240	+41	+21.0%
USドル (円)	151.46	148.08	▲3.38	
ユーロ (円)	164.56	165.69	+1.13	

★ : 過去最高

2025年12月期 1-9月実績 (フィールド別)

(単位：億円)

	売上高				営業利益			
	2024年	2025年	増減		2024年	2025年	増減	
	1-9月実績	1-9月実績	対前年	率	1-9月実績	1-9月実績	対前年	率
エネルギー 環境	781	859	+78	+10.0%	▲13	20	+33	-
バイオ ヘルスケア	288	295	+6	+2.4%	▲11	▲13	▲1	-
先端材料 半導体	1,089	1,147	+58	+5.4%	324	328	+3	+1.1%
合計	2,158	2,302	+143	+6.7%	299	335	+36	+12.1%

<エネルギー・環境>

欧州と米州において、ハイブリッド車開発向けの需要が増加したほか、自動車開発エンジニアリング・試験の販売が増加。

<バイオ・ヘルスケア>

欧州において販売が増加した一方で、米州での検体検査装置向け試薬の販売減少などにより営業損失計上。

<先端材料・半導体>

先端半導体関連需要が牽引し、アジアでの半導体製造装置メーカーへの販売が増加。

2025年12月期 通期業績予想

(単位：億円)

9月までの業績動向を鑑み、フィールド別業績予想を調整するも、全体の業績予想は変更なし。引き続き、増収増益を達成する見込み。

	2024年	2025年		増減	
	実績	前回予想 (8/7)	今回予想 (11/14)	対前年	対前回予想
売上高	3,173	3,350★	3,350	+176	-
営業利益	483	520★	520	+36	-
営業利益率	15.2%	15.5%	15.5%	+0.3p	-
経常利益	501	520★	520	+18	-
親会社株主に帰属 する当期純利益	335	360	360	+24	-
USドル (円)	151.69	145.00	145.00	▲6.69	-
ユーロ (円)	164.05	165.00	165.00	+0.95	-

★ : 過去最高

2025年12月期 通期業績予想 (フィールド別)

(単位：億円)

	売上高					営業利益				
	2024年	2025年		増減		2024年	2025年		増減	
	実績	前回予想 (8/7)	今回予想 (11/14)	対前年	対 前回予想	実績	前回予想 (8/7)	今回予想 (11/14)	対前年	対 前回予想
エネルギー 環境	1,274	1,360	1,370	+95	+10	42	75	80	+37	+5
バイオ ヘルスケア	401	450	440	+38	▲10	▲8	▲5	▲10	▲1	▲5
先端材料 半導体	1,497	1,540	1,540	+42	-	449	450	450	+0	-
合計	3,173	3,350	3,350	+176	-	483	520	520	+36	-

- 9月までの業績動向を鑑み、エネルギー・環境の売上高・営業利益を上方修正し、バイオ・ヘルスケアの売上高・営業利益を下方修正。
- 先端材料・半導体については、市場の見通しに変化はなく、先端半導体関連需要は堅調に推移すると想定。

2025年12月期 通期業績についての見通し

エネルギー 環境

- 内燃機関を用いたHEV/PHEVが重要度を増し、車両開発におけるガス分析需要が増加。モビリティの高水準な受注残により上方修正。
 - 車載向け燃料電池投資の減速、クリーンエネルギー関連補助金の見直しにより市況は調整中。
- ホリバ・フューエルコン社の一部雇用調整実施。エネルギー事業の構造改革を検討開始。

バイオ ヘルスケア

- ライフサイエンス事業では製薬プロセスに向けたソリューションへ投資継続中
 - メディカル事業では、インドでの販売が拡大するも、日本においては人件費や諸経費高騰により、医療機関の設備更新に慎重な動き。
 - 欧 / 米 / 中での検体検査市場における競争の激化。
- 中国の試薬工場の閉鎖決定。採算改善に向けた構造改革を検討開始。

先端材料 半導体

- 生成AI向けDRAM関連需要が引き続き牽引し、日 / 米 / 東南アジアにおける販売が堅調に推移。
- 中国市場は一時的な在庫調整局面となっているものの、中長期的に需要は増加傾向となる見通し。
- 福知山テクノロジーセンターの新棟が竣工し、下半期よりさらに研究開発を加速。

営業利益分析

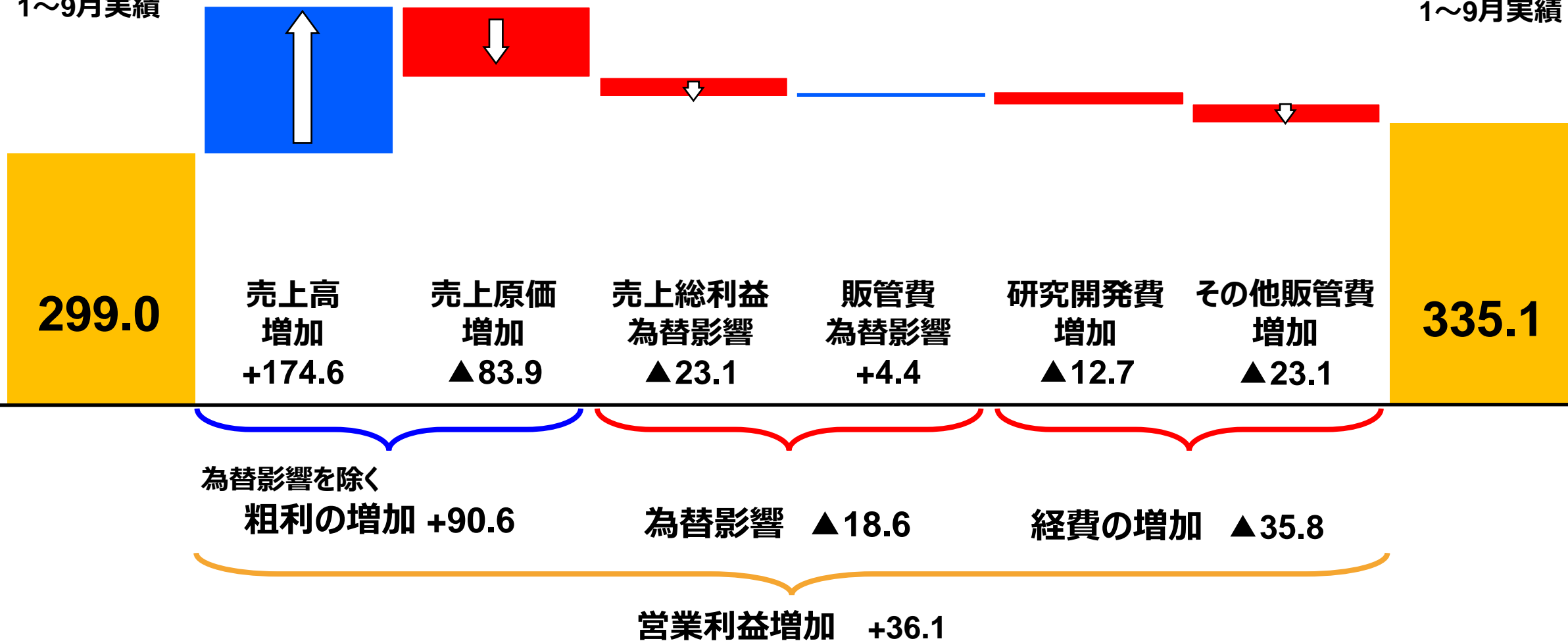
(単位：億円)

2024年

1～9月実績

2025年

1～9月実績



為替推移 / 想定レート / 影響額

	2024年	2025年			
	通期	前回予想 (8/7)	実績	通期予想	対 前年(通期)
			1-9月		
USドル	151.69	145.00	148.08	145.00	▲6.69
ユーロ	164.05	165.00	165.69	165.00	+0.95

2025年 為替影響額 (前年同期比)

(単位：億円)

売上高の減少	▲ 30.9
売上原価の増加 (逆符号)	+ 7.8
売上利益の増加	▲ 23.1
販売費及び一般管理費の増加 (逆符号)	+ 4.4
営業利益への影響	▲ 18.6

為替感応度 (2025年通期予想) 1円円安による売上高/営業利益の影響額

(単位：億円)

	売上高	営業利益
USドル	+ 7.2	+ 3.1
ユーロ	+ 3.5	▲ 0.1

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)

	2024年	2025年				
	実績	前回予想 (8/7)	今回予想 (11/14)	対 前年	対 前回予想	1-9月実績
設備投資額	193	200	200	+6	-	129
減価償却費※	130	140	140	+9	-	100
研究開発費	229	260	260	+30	-	183
(対売上高比)	7.2%	7.8%	7.8%	+0.5p	-	8.0%

※のれん償却費含む

2025年
トピックス

- 有形固定資産
京都福知山テクノロジーセンター新棟
京都福知山工場など

配当予想

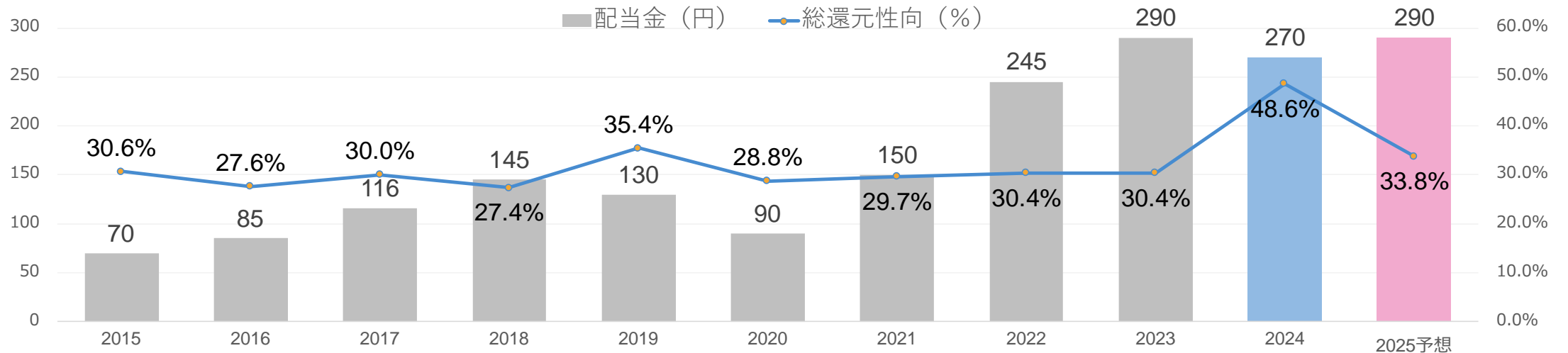
基本的な考え方

- 配当金 = 連結純利益×30%を目途
- 投資機会と資金状況等を総合的に勘案し、特別配当や自己株式の取得を機動的に実施

配当金

- 2023年実績 290円【中間 80円、期末 210円】
- 2024年実績 270円【中間 80円、期末 190円】
- 2025年予想 290円【中間 80円、期末 210円】※前回予想から変更なし

総還元性向推移



HORIBA